

## ノイエスだより

ノイエス朝日(朝日印刷工業株式会社)  
群馬県前橋市元総社町七三-15  
TEL 027・2555・3434  
FAX 027・2555・3435  
<http://www.neues-asahi.jp>

「前橋の美術2020」トナリのビジュツ」の協力企画として実施した「井田秋雄個展」で、井田秋雄先生と来廊された方との会話の中で『平行情物』の著者でグラフィック・デザイナー、画家、彫刻家、童話作家として知られるレオ・レオーニ「間の本」の話が出ました。

今では古本としてもプレミア価格になっている本を早速、県立図書館から借りてきて読み始めました。

会話というものは、つねに長い会話であるべきで、本物の会話は、もう何も言うことがないとお互いが思ったところから始まる。とか。

ものごとの本質(エッセンス)を感じることに、ものごとについての知識をもっていることとは違う。とか。東洋と西洋の中心についての概念の違いとか・・・とにかく興味深い内容です。

そんな折、シネマテークたかさきで装幀家・菊地信義と、本をつくる人々のドキュメンタリー映画「つつんで、ひらいて」を見ました。

1万5千冊をデザインした装幀家の仕事現場も興味深いものでしたが、その発想力や考え方に心が躍るような楽しさで94分の上映があつたという間に過ぎていきました。映画の中で自著の装幀をしている時の会話の時にやはり「間」について話をしていました。

本という限られた中での活字や余白や紙質や重さなど、あらゆる要素の中での「間」というものが、いかに大切かということでした。

装幀というものは本にとつての洋服のようなもので、書店デビューする時には重要なものです。平積みの本も、棚に差しで入る本も、作家や書名で探すことは、もちろんありますが、何の目的もなくブラブラと書店歩きをする時は、装幀によって誘われ、手に取ることもあります。

一冊の本が出来上がるまでの工程が手作業で進められていく原点が丁寧に編集されていて本好きの人には、たまらなく心くすぐられる映画でした。映像の中に何十年前か前に知り合った編集者が菊地信義氏と話をしていた場面が出てきた時には懐かしい人の顔を久しぶりに見てドキツとしました。本を取り巻く環境は厳しい時代だともいえますが、情熱をもつて一冊の本を作り出す作家、装幀家、編集者、印刷関係者に拍手をおくりたいものです。

再び「間」の話に戻りますが、本づくりだけでなく、人間関係においても、生活についても「間」の大切さを感じます。仕事はもちろん、料理や洗濯などの家庭生活においても「間」の使い方次第で大きく考え方も生き方も変わってくるように実感しました。(武藤)

## ノイエス朝日(展覧会)のご案内

## 綿貫哲雄作陶展

〈ノイエス企画〉

会期 二月二十二日(土)～三月一日(日)  
午前十時～午後五時  
会場 ノイエス朝日 スペース1・2

## 前橋の美術2020協力企画

## 4人の作家による3.11 その前とその後

## 金家秀男・住谷夢幻・多胡 宏・永沼鴻雲

〈ノイエス企画〉

会期 三月七日(土)～十五日(日)  
午前十時～午後五時  
会場 ノイエス朝日 スペース1・2

## ニットソーイングクラブ 真

## 第19回 春の作品展

日時 三月十七日(火) 午前十時～午後五時  
十八日(水) 午前九時～午後五時  
十九日(木) 午前九時～午後三時  
会場 ノイエス朝日

体験予約・お問合せ先  
ニットソーイング真 027・2355・0302

## 山口 晋 作陶展

〈ノイエス企画〉

会期 三月二十二日(日)～二十九日(日)  
午前十時～午後五時  
会場 ノイエス朝日 スペース1・2

「4人の作家による3.11 その前とその後」と「山口 晋 作陶展」のご案内は次回にお送りいたします。企画展に関するお問い合わせは、展覧会会期中にお願いいたします。

## 前橋の美術2020「トナリのビジュツ」開催中!!

二月八日(土)からアーツ前橋を中心に、街なかでの作品展示、活動、また学校や施設等への支援「アートゆい」そして市内ギャラリーと1カ所の施設美術館の協力企画展がはじまりました。

連日、多くの方々に参加して、今、前橋の街中では作家をはじめ県内外からも多くの人が展覧会で作品を鑑賞し、そして各種イベントにも足を運んでいただいています。

二月二十九日(土)には、アーツ前橋においてシンポジウム「前橋のつながり」が午後二時からおこなわれます。

三月に入ってギャラリートークやダンス、そして最終日の三月十五日(日)には、市民と出品作家の集いトークがアーツ前橋で午後二時から開催されます。

まだ、展覧会を見ていない方は、入場無料となっておりますので是非ご覧ください。

久しぶりに街なかを歩いてエネルギーな表現者の作品と作家たちとのコミュニケーションをお楽しみください。

前橋の美術2020のパンフレットは、アーツ前橋や協力企画ギャラリーにあります。

詳細につきましては、  
アーツ前橋(電話027・230・1144)  
までお電話ください。

会社の仕事机の後の壁には、詩人や書家の写真が貼つてあります。

沖正弘氏が撮影したマザーテレサと、作家の水上勉先生のポスターも貼つてあります。

ノイエスでの数人の講演会写真も・・・。  
そんな人々に支えられて、どんな忙しい日々でもクリアーできる力が湧いてきます。

そろそろ新芽も膨らみはじめ、あと一ヶ月もすれば花々が咲き乱れる季節をむかえます。

朝、目覚めても明るくなってきたことだけでホツとする毎日です。

「前橋の美術2020」の展覧会を見ながらノイエス朝日に、お立ち寄りください。お待ちいたしております。